



Vol.21 No.3 (No.274) 2011.11.24
東洋英和女学院大学図書館

研究ツールとしての新聞データベース

岡井 崇之

本学図書館には膨大な文献が所蔵されていますが、そのほかにデータベースというものがあります。新聞に限っても、「聞蔵Ⅱビジュアル」(朝日新聞)、「日経テレコン 21」(日本経済新聞)、「毎日 News パック」(毎日新聞)、「ヨミダス文書館」(読売新聞)があり、皆さんが読みたい記事を検索することができます。ここでは、大学での学びにおける新聞データベースの意義とその活用例を簡単に紹介します(利用の際の手順は各マニュアルを参照してください)。

「ニュースは社会の鏡」といわれますが、実はこの表現は正確ではありません。新聞やテレビのニュースには、制作者の考え方やメディアの産業構造、メディアの特性などが深く影響しています。とはいえ、新聞はその時代の社会的な争点や世論を色濃く映し出しているのも確かです。そのため、新聞記事は学問的な調査・研究でも意義のあるものとされ、広く用いられています。もちろん、皆さんがレポートや卒業論文に取り組む際にも十分活用できるものです。

例えば、「新聞で『不安』がどのように報じられているか」を知りたいとします。新聞によって違いがあることが考えられるため、複数の新聞を対象にした方がよいでしょう。「不安」というキーワードをタイトル検索に打ち込み、その他の条件を設定して検索します。その結果、ヒットした件数が少なければ、「不安」と一緒にタイトルに上がっている言葉を拾い、カテゴリを設定してその記事の傾向を分類・集計していきます。ヒットした件数が膨大な場合は、出てきた記事全体によく目を通して全体の傾向を把握したうえで、複数のキーワードによるクロス検索であらかじめ絞る必要があります。その場合、自分の問題意識に即して「不安」／「生活」、「不安」／「社会」などとしてみるとよいでしょう。そこから、その時系列的な変化や新聞ごとの横断的な特徴など、その結果の分析から新たな研究テーマを立てたり、それまでに取り組んできた研究をまとめたりすることができるでしょう。

このように、新聞データベースは記事になった出来事を検索するだけでなく、調査・研究を発展させるうえでの重要なツールでもあります。まずは問題関心のあるキーワードの検索から始めてみるのもよいでしょう。

(おかい たかゆき・本学国際社会学部講師)

この秋、図書館では新しい企画がたくさん生まれました。以下はそのご報告です。なお「図書館舞台裏見学ツアー」と「選書ツアー」は次年度また開催する予定です。自分も参加してみたい、と思われた方は、是非次の機会に応募してください。お待ちしております！



図書館・舞台裏見学ツアー 2011.10.27

「図書館ツアー感想レポート」

東洋英和女学院大学人間科学部人間科学科
4年 A.S

私は、大学に入り司書課程を学んできました。司書の役割などを学びながらも、「図書館＝本を借りる、勉強をする場」としての印象が強くありました。ですが、このツアーに参加したことで、図書館の意義を改めて考えさせられました。学内のあらゆる発行物を保存している史料室や、資料を読むのではなく「観る」楽しみを伝える展示の裏側などを見学することで、東洋英和の図書館としてどのような役目を果たしているのかを、知ることができました。

また、中でも一番印象に残ったものは、司書の方々の資料に対する「温かさ」を感じたことでした。事務室では、資料の補修作業を見学させて頂きました。司書の方々と近い距離でお話することで、司書の方がどれだけの温かさを持ち、資料を扱っているのかを実感しました。このツアーに参加することで、資料が私達に届くまでに生まれる図書館の魅力を見ることができ、とても貴重な経験となりました。またこのような機会があれば、是非参加したいと思います。

以上



図書館選書ツアー 2011.11.8

11月8日に図書館・選書ツアーを開催しました。訪れたのは、JR横浜線鴨居駅近くの「ららぽーと横浜紀伊國屋書店」。選書とは、図書館に入れる本を選ぶことです。

今回は、実際に本屋さんで本を手にとりながら、自分が読んでみたい本、他の英和生にぜひおすすめしたい本、英和の図書館にふさわしいと思う本を学生ならではの目線から、選んでもらいました。「図書館に入る本を選ぶ」という使命感からか、皆さんかなり真剣に悩みながら店内をぐるぐると回り、1冊1冊丁寧に選書をしてくれました。今回の選書ツアーで購入した図書は、近日中に図書館1Fカウンター前の展示コーナーにて紹介をいたします。お楽しみに！！

皆さん、熱心に選書中。



お疲れ様でした！



~~~このような図書館活動を支えてくれるのは、図書館サポーターの皆さんです！~~~

### 図書館サポーター募集中！！

本が好きな方、将来図書館で働いてみたい方、企画や展示が好きな方、学部学年を越えたネットワークを築きたい方、この機会にぜひいかがでしょうか。活動内容は基本的にサポーターの希望に沿って、月1回のミーティングで決めます。見学だけという方も大歓迎です。ご質問・お申し込みは、図書館カウンターまで。



## 新展示企画「雑誌紹介コーナー」 2011.10~

10月より、図書館1F 新着図書架横で「雑誌紹介コーナー」を始めました。普段皆さんにお見せする機会の少ない雑誌の増刊号や別冊などにスポットを当てています。第1回は「文芸春秋」の“つなみ”を紹介（2011.8 臨時増刊号）。東日本大震災で被災した子供たちの作文集です。第2回は俳優たちのいまを伝える「キネマ旬報」の“acteur”を取り上げました（2011.9 別冊）。今後も定期的に紹介していきますので、ぜひ立ち寄って手にとってみてください。



## マナーアップキャンペーン実施中 2011.11.7~12.26

11月7日から年内まで、図書館全館でマナーアップキャンペーンを実施中です。

マナーアップ  
キャンペーン



これからは利用者が増加する時期でもあります。おしゃべり、飲食、トイレの使い方など、だれもが気持ちよく図書館を利用できるよう、お互いに気を付けたいものです。なお期間中図書館スタッフは全員、左のような水色のバッジを着けています！どうかご協力をお願いします。

## ～いつもの展示コーナーもリニューアルしました！～

### 展示ケース『復刻世界の絵本館オズボーン・コレクション』について



「オズボーン・コレクション」とは、カナダのトロント公共図書館が所蔵する、16世紀末～1910年以前にイギリスで出版された絵本や児童書のコレクションのことです。日本では、絵本や児童書を主に扱う出版社「ほるぷ出版」が、このコレクションのなかから、厳選された65作品を再現し、『復刻世界の絵本館オズボーン・コレクション』として1979年、1984年の2回にわたって出版しました。

今回の展示ではその一部を紹介しています。

手の込んだ、美しく珍しい絵本をご覧くださいとともに、500年以上も前に出版された絵本を、絵の色調や装丁をも含めて完全に復元した、その高い技術力にもぜひ注目していただけたらと思います。

＜展示担当：池上＞

### ミニ展示

### 「レポート・論文に役立つ本棚」

昨年同じ時期に実施したミニ展示「レポート・論文に役立つ本棚」。好評につき、さらにリニューアルして戻ってきました。12月末まで図書館1Fレファレンスカウンター前で展示致します。

レポート・論文の書き方はもちろん、わかりやすい文章の書き方、考えをまとめるテクニック、MS Officeを使った論文作成術、ちょっと気になる質的研究などなど...約80冊を展示中。貸出も可能です。皆さんの課題に役立つ情報が満載です。是非お立ち寄り下さい。



(No. 274 編集担当：宮田)